

○議長（風古波君） これで吉松正憲さんの質問を終わります。

次に、6番戸田久和さんを指名いたします。戸田久和さん。

〔6番戸田久和君登壇〕

◆6番（戸田久和君） 6番無所属鮮烈市民派の戸田です。

まず、質問通告の2項め、公立保育士の年齢構成の要旨のところでは数字の間違いが一部ありますので、訂正します。公立保育士の正職員の人数は68人ではなくて76人、またアルバイト保育士も加えた正しい総合データで、20歳代の人は26.82%ではなくて26.2%です。それでは、質問に入ります。

1、保育園民営化推進担当西浦参事による議員への情報隠し・虚偽説明・調査妨害事件について。

保育園民営化推進担当の責任者西浦光男参事が当方に対して、悪質な情報隠し、虚偽説明、調査妨害を行うという事件が12月に発生しました。当方はこれを断固糾弾し、同参事本人からの謝罪など4項目の要求を出しております。

この参事が起こした事件というのは、1、保育園への依頼文書という様式書類を議員からの要求にもかかわらず情報提供せず、4日間も引き延ばしたあげくに、開示請求してくれとして提供を拒んだこと。なすべき情報提供の拒否、議員の調査妨害です。

2、アルバイト・パート保育士それぞれの年齢構成と経験年数、その総合データについて、当然把握しているべき事柄にもかかわらず――市立保育園の現状云々を言うてるわけですがね――回答するから待ってくれとして4日間も引き延ばしたあげくに、保育園民営化推進課担当では把握しておりませんと居直って回答を拒否した。なすべき情報提供の拒否、議員への調査妨害、職務懈怠。

3、保育園関係者からの意見聴取について、実際には回答書面を出させた上、話を聞いて集約したのに、書面提出はなく、口頭で話を聞いたものを集約したと虚偽の説明をした。これは、みずからが3カ月ほど前に主催した業務であり、やり方を忘れるはずがない。これも議員に対する意図的な虚偽の説明、議員の調査妨害です。

この明らかな不良行為に対して、当方は12月11日に長野部部長と北村室長に対して口頭で以下のことを強く要求し、また文書でも後に出しました。それは、1、参事本人の戸田への謝罪。2、この参事に対する市当局からの注意処分。3、なぜこのような不良行為が起こったかについての事実検証。4、具体的な再発防止策の実行です。

その後、19日になって本人の口から一応謝罪がなされ、その他の項目についても進展しているはずですが、市当局からの事件発生者たるこの参事への注意処分や、なぜこのような行為が起こったかについての事実検証、具体的な再発防止策の実行、報告書の作成、上司の監督責任についてなどはどうなったのか、答えてください。

次、同参事が中心になって作成した門真市公立保育所のあり方懇話会第1回目の議事録には、会議を非公開とすることを決めたという重大ないきさつを欠落させているという重大な欠陥があります。6月議会での同様な問題での答弁も踏まえ、ここの欠落分を補充するべきではないか。

さて、本年3月までの5年9カ月間にわたって、門真市では何と情報公開の職員研修がなされてこなかったという驚くべき事実が判明しました。また、ことし3月以降の5年9カ月ぶりの再開以降も、この研修効果が極めて薄いことが今回明白になりました。たった3人の保育園民営化推進担当者たちにいわば集中講義をしたのに、その結果が今回の情報隠しなんです。

さきの6月議会のときには、議会審議に直接かかわる情報であるにもかかわらず、議員からの提供要求を庁内で検討したと称したあげくにはねつけて、日数と費用を要する開示請求手続を強制した事件も起こっています。もう少し以前には、当然存在する資料をよく探してもせずに不存在としてはねつけた例もあります。これは教育委員会。

こういう事態を改善するためには、私は次の四つのことを提起するので、ぜひ実行してもらいたい。

まず1番、外部専門家の講師などを活用すべき。2番、研修では受講者の理解の度合いを確認するテスト実施などをすること。3、実務に密着したシミュレーションを行い、対応訓練をすること。4、門真市で現実に起こった不適切対応例をケーススタディーし、教訓を伝えること。門真市にはいっぱいありますね、そういうこと。5、重大な不適切対応をした職員には、必ず個別に特別研修を行ってレベルアップを図ること。その適用として、今回事件を起こした参事には、遅くとも1カ月以内に個別に特別研修を行うこと。これについて市の見解を述べてください。

第2項目の質問、公立保育士の年齢構成でそのデータを土台に民営化推進を図る市の責任について。

公立では、子供と接する保育士の年齢構成が高いことが問題とされ、民営化推進の有力な論拠とされてきましたが、実はそれは全くうそであることが判明しました。今までのデータでは、公立の保育士は50歳代が40.8%もいて、

20歳代は9.2%しかないというものでしたが、正職員76人とアルバイト保育士73人も加えた正しい総合データをつくってみると、50歳代は23.5%だけで、一方20歳代は26.2%もいて、10歳ごとの各世代がそれぞれ約4分の1ずつと実にバランスよく存在しているんです。

公立保育所の保育士は、年齢構成が高くて問題だという虚偽のデータに基づく虚偽の説明をして、懇話会委員たちをだまして議論を誘導し、民営化推進の報告書を了承させ、これを市長に出させることによって、市は4園を民営化するという保育所民営化基本方針（案）を策定しました。行政が論議を誘導するために意図的に虚偽のデータを提出するという非常に悪質なことを門真市はしてしまっただけで済みます。

その市が提供した資料、そして報告書の原案、これをそのまま最後まで引きずっていきませんが、変わりませんけども、そこにはどう書いているかというところ、保育園の保育士、50歳以上の者が76人中31人を占めているという全くでたらめな説明です。真実は、50歳以上の者は149人中の35人、これが真実です。

しかも、子供と常時接する保育士の年齢が問題とされ――身分ではなくてね。子供と常時接する保育士の年齢が問題とされ、若い人がいいんだ、ベテランがいいんだ、その話をしている中、正職76人とともにアルバイト73人が子供と常時接しているのに、正職員の年齢構成だけを出すのは、明らかに統計詐欺であります。そもそも長年正職員を採用しないから正職員の年齢が高くなってきて、その穴埋めにアルバイトを採用している。この事実を覆い隠すものであります。

このような市がやってきたことは明らかに統計詐欺であり、うそを土台とした民営化推進の報告書も基本方針案も白紙撤回するべきであります。そして、今現在ホームページに載せている報告書の記述、このさっき言ったうその記述も、これはきちっと訂正せよということを強く要求し、市の答えを求めます。

また、懇話会の委員だった人たちに、直ちにこの事実を伝えること。今後、市が公立保育園保育士の年齢構成や経験年数を語る際には、必ず正職員とアルバイトを総合したデータによって語ることを約束しなさい。こういう基礎データを正しくつくっていなかった保育課の職務怠慢と責任は重大であります。

次、住基ネットの問題について。

ことし9月に富士ゼロックスシステムサービスに派遣されて、約180もの自治体の戸籍データを自治体パソコンに組み込む作業をしていた派遣会社社員が、業務で得た戸籍情報などを盗み出して別の男に売り、その男が会社をおど

一方では、本人確認情報を利用したデータマッチングや名寄せについて、そのような具体的危険があるとは言えないとの名古屋高裁の判決があり、判断が分かれておるところであります。上級審の判決を見守りたいと考えておるところでございますので、よろしく御理解賜りますようお願いを申し上げます。

○議長（風古波君） 長野健康福祉部部長。

〔健康福祉部部長兼福祉事務所長長野晃二君登壇〕

【答弁】

◎健康福祉部部長兼福祉事務所長（長野晃二君） 戸田議員の御質問のうち、保育園民営化推進担当参事による議員への情報隠し、虚偽説明、調査妨害について、並びに公立保育士の年齢構成でそのデータを土台に民営化推進を図る市の責任についてを私より御答弁申し上げます。

まず、注意処分、事実検証、具体的な再発防止の実行、報告書の作成、上司の監督責任についてであります。

注意処分につきましては、今回の判断に関しましては、管理監督者として反省すべきものと認識しております。今後は、関係職員一同に対して、このようなことが起こらないよう指導してまいりたいと考えております。

事実検証につきましては、事実確認の結果、組織内の意思疎通及び情報提供への配慮の不十分さから、このような結果に至ったと認識しており、一部誤った説明があったことにつきましては、判明した時点で早急に訂正させていただく必要があったと考えております。

次に、具体的な再発防止策につきましては、今後、このようなことのないよう、所属職員に対し周知徹底を図るとともに、情報公開に関する研修のあり方や研修の理解度を増すための方策につき、関係部署と協議、研究してまいりたいと考えております。

次に、報告書の作成につきましては、先般報告させていただいておりますので、よろしくお願い申し上げます。

次に、上司の監督責任につきましては、冒頭でも申し上げましたとおり深く反省しております。今後このようなことが起きないように監督責任を果たしてまいりたいと考えておりますので、御理解いただきますようお願い申し上げます。

次に、門真市立保育所のあり方懇話会1回目議事録に重大な欠陥があり、補正すべきではないかについてであります。

懇話会の会議録につきましては、その内容を事前に懇話会委員全員に御確認いただいた上、委員からの御指摘により必要な場合は補正するなど、委員の合

意を得た上で会議録と確定いたしておりますので、御理解賜りますようお願い申し上げます。

続きまして、市立保育士の年齢構成データに係る市の責任についてであります。

まず、公立では保育士の年齢構成が高いことが問題とされ、民営化推進の有力な論拠とされてきたことについてであります。

市立保育所のあり方についての報告書では、市立保育所の正職員の年齢構成は、将来的に見れば組織としての機能と役割に支障を来すことが懸念されること、また保育所運営経費コスト高の要因の一つであるとされていますが、一方では、市立保育所がノウハウや経験年数の長い人材を多く有しており、今後、地域の子育て支援の拠点施設としての役割を担っていくことが期待されると、その利点についても述べられているところであります。

いずれにいたしましても懇話会からは、これらの内容も含め、民営化だけではなく、今後の市立保育所のあり方についての御提言をいただいたものであります。

また、このたび策定いたしました基本方針（案）におきましても、存置する市立保育所の役割の一つとして、豊かな経験を有する人材を子育て支援専属の保育士として配置するなどとしており、高年齢保育士の問題のみを民営化推進の有力な論拠とは考えておりませんので、御理解賜りますようお願い申し上げます。

次に、報告書も計画も白紙撤回するべきであるとのことでありますが、議員が主張されておりますアルバイト等を含む年齢構成等の資料につきましても、懇話会での審議や基本方針（案）の策定に影響するものではないとの判断によるものであります。

次に、アルバイト等も含めた基礎データをつくっていなかったことについてであります。これらの資料につきましても、これまでその必要性がなく作成していませんでしたが、今後、あらゆる角度からの分析資料の一つとして検討してまいりたいと考えておりますので、御理解いただきますようお願い申し上げます。

○議長（風古波君） 内藤行政委員会総合事務局長。

〔行政委員会総合事務局長兼事務局次長内藤義文君登壇〕

◎行政委員会総合事務局長兼事務局次長（内藤義文君） 戸田議員御質問のうち、選挙管理委員会委員長の資質と民生・児童委員の選挙活動について私より